

府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針（案）に対するパブリックコメント手続の実施結果

1 意見の提出期間

平成27年9月21日（月）から11月19日（木）まで

2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
54人	127件	10人	11人	18人	11人	4人

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方

別紙のとおり

※ 質問や意見の内容については、概要としています。また、同一のものはまとめて記載しています。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
1	1	3	公共施設マネジメントの取組	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)では、今後40年間の更新費用として毎年平均70億円、近年の2倍もの費用が必要になるとありますが、駅周辺の11施設の改修費としては非常に高額です。おそらく、これは市内すべての公共施設の改修費のことでしょうが、そうであるならば不誠実な説明です。(外1件)	第1章の「2 公共施設マネジメントの取組」の冒頭において、「本市が保有する公共施設」という書き出しから始め、施設全体に係る課題を記載した部分となりますので、市が保有する全ての施設の改修や建替えにかかる費用を示したものでございます。なお、再編の対象となる11施設の改修や建替え費用につきましては、第2章の「2 対象施設の現状と課題」に記載しております。
2	1	3	公共施設マネジメントの取組	健全財政の維持という立場を貫くのであれば、現在進行中の大型開発プロジェクトを見直す必要があります。それに対する言及がないまま、結論を府中グリーンプラザの解体とするのは説得力がありません。	現在進行中の事業につきましては、第6次府中市総合計画や財政計画とも連動するなかで、健全財政を保ちながら進めていけるよう計画的に進めているものでございます。
3	1	4	公共施設マネジメントの取組	多様化する市民ニーズへの対応ということで、けやき並木周辺に限定した方針であることが前提とさせていますが、「市民や多くの来訪者が訪れ、にぎわいのある魅力的なまち」の商業的繁栄をうたう論調に違和感を覚えます。この一極集中的な「にぎわいの創出」論はどのように市民生活の日常のニーズと関係するのでしょうか。市内それぞれの居住地域の課題を視野に入れた視点から、「みんなで創る、住みよいまち」を感じ取れるような方針であってほしいと思います。	多様化する市民ニーズへの対応とは、公共施設が抱える課題の1つであり、市全体の施設を捉えた公共施設マネジメントの必要性を示しております。そのなかで、本モデル事業のエリアである府中駅周辺の市民ニーズは、検討協議会からの報告書等で示された、商業施設に対するニーズというものを反映させ、方策1「公民連携による府中駅前公共施設の新たな活用」を定めております。なお、府中駅周辺の課題と地域の課題は、それぞれ異なり、対応するものであり、本方針は、府中駅周辺に係る課題を施設の再編によって解決していこうというものでございます。
4	2	13	対象施設の現状と課題	府中市には、公共施設が多くあり、贅沢だと常々感じています。府中駅の南口に公共施設ができると聞いたときは、また公共施設かと思いました。そんなに公共施設が必要なのでしょうか。すぐ近くの府中駅北口には、府中グリーンプラザという施設があるというのは、知っていますが、使ったことはありません。ある程度の稼働率はあるようですが、この施設の稼働率を見て南口に新施設を造ろうとしたのであれば、行政の考え方は、あまりにも短絡的です。府中グリーンプラザの稼働率が高いから、求められているということにはならないはずで、圧倒的多くの市民は使っていません。薦められても使いたいとは思いません。	これまで様々な目的を持って公共施設を整備してまいりましたが、施設の老朽化や健全財政の維持、市民ニーズの多様化などに対応していくため、公共施設マネジメントの考え方に基づき、「全体の最適化」という視点から見直しを進めていく必要があると考えております。また、見直しの際には、施設利用者に限らず、幅広い市民の意見を確認しながら進めていくことが重要であると考えております。
5	2	15	対象施設の現状と課題	参考資料2の図で、新庁舎の事業スケジュールとして現在の計画では、予定されていない仮設庁舎の建設が記載されているのは削除すべきです。	方針策定時の状況に合わせて修正いたします。
6	2	16	対象施設の現状と課題	府中駅周辺施設の再編に関する市民アンケートは、無作為抽出等で実施した市民アンケートであり、利用者の意見は吸い上げられていません。府中グリーンプラザを利用したことのない、ましてやフロアセブン協議会の存在を認識されていない市民の意見は、全く参考になりません。	公共施設は市民共有の財産であり、維持及び更新していくためには、利用するしないに関わらず、税金という形でご負担いただかなければなりません。このことから、利用者、非利用者双方の意見を確認し、判断していくことが必要であると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
7	2	16	対象施設の現状と課題	府中駅周辺施設に関する市民アンケートは、施設を利用したことがない人達が多くて、あまり参考にならないのではないのでしょうか。829人では幅広い市民の意見とは言えないのではないのでしょうか。	公共施設は市民共有の財産であり、維持及び更新していくためには、利用するしないに関わらず、その費用をご負担いただいております。このことから、利用者、非利用者双方の意見を確認し、判断していくことが必要であると考えております。 なお、アンケート調査につきましては、郵送やインターネットを活用し、様々な立場の方からご意見をいただけたものと考えております。
8	2	16	対象施設の現状と課題	長年フロアセブン協議会の登録団体として活動してきました。府中グリーンプラザは駅に近く、高齢者や障害者も利用しやすい施設のため、現在フロアセブン協議会には百数団体が登録し、多彩な活動を展開しています。 対象施設の現状と課題の中で、(2)「施設の集積による機能の重複」、(3)「施設の移転及び統合後の活用」、(4)「機能や運用の見直し」、(5)「賑わいの創出」は、市の一方的な考えに基づいて出されているとしか思えません。特に、(5)に「府中駅前のにぎわいの創出が求められている」とありますが、何人の市民に意見を聞いて、何人の人がにぎわいの創出を求めているのですか。少なくとも私たちは答えていません。	第6次府中市総合計画前期基本計画において、「にぎわいのあるまちづくり」を重点プロジェクトとして定め、取り組んでいるところでございます。本方針の策定に当たっては、有識者や各種団体の代表者、公募市民で構成する検討協議会において、また、平成26年12月に行った「府中駅周辺公共施設の再編に関する市民アンケート」の結果を踏まえ、にぎわいの創出に向けた具体的方策を定めております。
9	3	20	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針	今回、府中駅周辺公共施設の再編に当たっての最重要事項は、市としての商業全体のマスタープランを構築することが重要と思われ、それなしには再編の方向性がミスマッチになる可能性が高いです。既存の商業者や有識者だけではなく市内外の消費者を含め、次のような視点を盛り込み、府中市商業マスタープランを早急な策定してください。 ・郊外ショッピングセンターと駅前立地の差別化 ・3つの商業集積ビルと魅力ある路面小規模店舗の組み合わせ ・市外からの購買流入を促進する商業施設とインフラ整備 ・市の歴史と環境を感じさせる街(商業)づくり	府中駅周辺の公共施設の再編を進めるに当たっては、新たな活用の主体となる民間事業者との対話を重ねながら進めるとともに、現在策定中の「府中市中心市街地活性化基本計画」とも連携を図りながら、府中駅周辺のにぎわい創出を図ってまいります。
10	3	20	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針について	基本方針(案)の「再編をどんな考えで進めるのか？」の箇所、①府中駅前に更なるにぎわいを生み出す、②機能に着目、③資産活用を図る、と3点が挙げられています。まず、この基本方針のベースに市民のニーズ、市民の目線が考慮されているのか、に大きな疑問を感じざるを得ません。 「府中駅前のにぎわい」は、本当に市民が望んでいるもののでしょうか？府中駅前にもっと金を落としてほしい、もっと北口に集客を呼び込み商業施設の「にぎわい」を生み出したい、との府中市の施策が、府中グリーンプラザを拠点にした市民活動の「にぎわい」よりも優先されなければならないのでしょうか。 この「駅前のにぎわい」を第一に掲げることに、違和感を感じてしまいます。公共施設を廃止して、商業施設を代わりに建てることは、市民・利用者が望む姿ではあり得ません。	本方針の策定に当たって設置した検討協議会からの報告書では、府中駅周辺のにぎわいを創出していくことの重要性が示されております。また、市民アンケートでは、府中グリーンプラザの今後の方向性について、民間事業者による活用を図るべきという回答が最も多くなっております。 このようなことから、府中駅周辺のにぎわいの創出は、市だけが考えて進めているものではなく、市民の方々の声も反映させながら進めている取組であると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
11	3	20	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針	「府中駅周辺のにぎわいの創出」とありますが、今市民が切実に求めているのは、これ以上のにぎわいよりも公共施設の使用料が安価であることやサービスだと思えます。	全ての公共施設を維持していくことは困難であり、将来の市民に負担を先送りすることないよう、着実に施設の量と質の見直しを行っていく必要があると考えております。
12	4	21	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	公共施設を取り巻く「施設の老朽化」、「健全財政の維持」、「多様化する市民ニーズへの対応」を解決するために、なぜ「民間事業者との連携も視野に入れた新たな活用」という結論になるのかが不可解です。「公民連携」を言うのであれば、生涯学習センターの指定管理者への委託や市営保育所の廃止の場合のように、資本活用の優先と効率性第一主義の市政方針を正面から説く議論を展開したほうが、まだ正論なのではないでしょうか。	公共施設全体を取り巻く課題という全体的な視点では、大きく3点となりますが、府中駅周辺の公共施設という枠で課題を把握すると、「施設の老朽化と費用の増加」、「施設の集積による機能の重複」、「施設の移転及び統合後の活用」、「機能や運用の見直し」、「にぎわいの創出」の5点が挙げられます。これらの課題を解決するため、いくつかの方策を示しておりますが、特に府中駅に近い施設につきましては、にぎわいの創出に向けた活用を図ることとしております。
13	4	21	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	今後の維持費が莫大にかかるとの説明がありましたが、これは全市の施設が対象になっています。にも関わらず、廃止、統合は府中駅周辺だけを対象にしています。生涯学習センターにせよ、芸術劇場にせよ、美術館にせよ、設置段階で無駄遣いではないかとの批判がありました。こうした批判を無視して、これらを次々に建てておいて、維持費がかかるから府中グリーンプラザをつぶすというのには納得できません。お金がなくなるというのであれば、利用率の低い施設を含めて全市レベルで検討すべきです。	公共施設マネジメントの取組は、特定の施設を対象にしたものではなく、市が保有する全ての施設を対象に進めており、平成26年8月に策定した「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」において、具体的なスケジュールを定め、取り組んでいるところでございます。
14	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザを壊すのは反対です。耐震性能があるのにもったいない。いつまで「スクラップアンドビルド」の無駄使いを続けるのか。健全財政をというのであれば、無駄使いこそやめるべきです。	府中グリーンプラザは、これまでのような公共による施設整備ではなく、民間事業者による活用を目指し、にぎわいの創出と新たな財源の確保を目指すものです。なお、既存建物を含めた敷地の活用につきましては、今後民間事業者による活用可能性を検討してまいります。
15	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	外国では、古い建物をいかして、修理しながら市民が使っています。これからは、多少の不便さは承知で、ものを大事に使う、修理して使うという本来日本人が持っていた「もったいない」の発想こそ取り戻すべきではないでしょうか。「スクラップアンドビルド」、「ハコものづくり」は、大手の会社を儲けさせるだけで、市民には何の利益もないどころか、財政赤字をもたらしている。府中市における「ハコものづくり」のツケを市民に押し付けるやり方は断じて反対です。	府中グリーンプラザは、これまでのような公共による施設整備ではなく、民間事業者による活用を目指し、にぎわいの創出と新たな財源の確保を目指すものです。なお、既存建物を含めた既存建物の活用につきましては、今後民間事業者による活用可能性を検討してまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
16	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザを解体して、その場所を民間に貸し、賃料を稼ごうとしていますが、自治体は商売人ではありません。市民の福祉の増進に努めるのが本来の任務です。効率だけを追い求める従来のあり方ではなく、市民が心豊かに暮らせる文化の街こそ、府中市民が求める街です。	市民の福祉の増進に努めるためには、将来に渡って安定した財政基盤を確立することが必要であり、その方法の1つとして、価値の高い府中グリーンプラザの敷地の活用は、有効なものであると考えております。今後も、第6次府中市総合計画が目指す都市像「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、市民の福祉の増進と効率的な行政運営に務めてまいります。
17	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザを利用しているグループの文化的な活動の多さは、目を見張るものがあります。特に、高齢であっても、府中駅に近いことで集まりやすく、外からの講師も呼びやすいなどの利点は、市民の文化活動を一層盛んにしています。府中グリーンプラザは府中の文化の重要な拠点となっています。さらに、多くの人に利便性と使いやすさ(利用料金の安さも含めて)を知らせること(行政の役割でもある)によって、一層充実した施設となります。解体すべきではありません。	府中グリーンプラザにつきましては、文化だけでなく、多様な目的で活動する方々にご利用いただいていると認識しております。そのようななかで、府中駅周辺には、今後整備する府中駅南口の新たな施設を含め、活動場所となる施設が数多くあるとともに、市内には各種文化施設を設置しています。これら施設の状況を踏まえ、府中駅周辺施設の機能の重複や効率的な施設運営などを目指し、再編を行うものでございます。なお、使用料につきましては、受益者負担の原則を踏まえ、適正な設定を行うことが必要であると考えております。
18	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザは、市内のどこに住んでいても様々な交通機関を利用して簡単に行くことができる特殊な建物です。このような公共の場所は、市民のつながり、そして高齢者の引きこもりを防ぐための重要な役割を持つ施設だと思えます。近隣の調布市や小金井市、八王子市など駅前がにぎわっている市には、必ず駅のそばに公共の市民が利用できる施設やホールがあります。ぜひ府中市も、重要な市民活動の場でもある府中グリーンプラザという建物を残すことを検討してください。	府中駅周辺公共施設の再編は、建物ではなく、使用する機能に着目して進めており、再編後も、市が保有する公共施設全体としては、会議室やホールなどの機能は同程度確保してまいります。
19	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザを老朽化により取り壊し、にぎわいのある街づくりを目指して商業施設にするとのことですが、それが市の目指す「にぎわい」なのでしょうか。現在ある府中駅周辺の商業施設には、昼間はあまり人がいない状況です。さらに、府中駅南口の再開発により、新たに店舗が入る予定となっています。それなのに、北側にも商業施設とするのでしょうか。市の財政が厳しくなってきたことは聞いていますが、テナント料や税金収入を得ることを第一の目的にするのは、行政の在り方としていかがでしょうか。	本方針の策定に当たって設置した検討協議会からの報告書では、府中駅周辺のにぎわいを創出していくことの重要性が示されております。また、市民アンケートでは、府中グリーンプラザの今後の方向性について、民間事業者による活用を図るべきという回答が最も多くなっております。これらのことから、府中駅に非常に近い立地を生かし、商業施設としての活用を検討してまいります。なお、府中駅周辺公共施設の再編は、財源確保を第一の目的として進めるものではございませんが、今後増大する施設の更新費用を確保するためにも、財源の確保は非常に重要な視点であると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
20	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザは美しいけやき並木に面しているので、もっとしっかり景観を生かしたセンスのある建物にできるはずだと思っています。また、建物に入っている喫茶店などは、とても入りたいたとは思えない状態ではないでしょうか。生涯学習センターも同様ですが、絶対的に営業努力が足りないと思います。ヨーロッパでは、コンサートホールでも美術館でもくつろいだり、語り合える喫茶店があります。こうした豊かな文化のあり方、時間の過ごし方に共感し、こんな風になればいいのに、と思います。	府中グリーンプラザの今後の活用に当たっては、本市の特徴を踏まえた新たな魅力を提供できるよう、検討してまいります。
21	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザのある場所は、駅に直結という利便性や、他市からも人が訪れ、利用する可能性が高いということからも、文化センターとはまた違う役割を持った、いわば市民の文化の拠点として、機能を残し、市が運営していくべきだと思います。	文化の向上という役割を持つ施設としては、市民会館や府中の森芸術劇場など、多種多様な施設をこれまで整備してまいりました。また、会議室等の機能面においても、府中駅周辺には同種のものが多く存在し、重複がみられる現状もございますので、再編の取組は必要であると考えております。
22	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザは、音楽、美術、舞台芸術のほかにスポーツも含めた全般的な文化を視野に入れて、建物の中身をどうするかを再度検討するべきだと思います。	これまで、設置目的は踏まえつつ、指定管理者制度を導入し、様々な企画を行ってまいりましたが、建物や利用状況などを踏まえ、新たな活用を図る必要があるものと考えております。なお、柔軟な施設運営という点につきましては、全ての施設で検討すべき課題であると考えておりますので、引き続き取り組んでまいります。
23	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	他の自治体では、市の職員がホール等の運営に直接関わっているとあります。市側の英知や努力で、府中市ならではのホールの育て方、使い方、建物の運営の仕方は絶対にあると思っています。	本市では、ホール等の運営をはじめとした施設の多くに、指定管理者制度を導入して、管理運営しております。指定管理者の経験や実績、ノウハウ等を活用し、直営では実現できない効果的・効率的な施設の管理運営を実現できているものと考えております。
24	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	今回の基本方針は、市民の活動を軽視しており、府中グリーンプラザの商業施設化は周辺地域の地主のみを豊かにする地上げ行為にほかならず、絶対に反対です。	本方針を策定するに当たって設置した検討協議会の報告書において、にぎわいの創出を核とした施設再編の考え方が示されるとともに、市民アンケートでは、民間事業者による活用を望む声も多くあったことから、新たな活用を定めたものでございます。
25	3	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	にぎわいのある街として、商業施設ではなく、市民の集まる場所、憩いの場所とするのも1つのにぎわりではないでしょうか。	新たな活用に当たっては、商業施設を中心に考えておりますが、市民の集まる場所や憩いの場所といった視点を取り入れた空間作りを検討してまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
26	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ解体後に商業施設を建てるということについて、商業施設は市場原理によって動くものであり、基本的に市が介入すべきものではありません。(地場産業や商店街の維持・発展の援助まで否定するわけではありません。) 南口にも北口にも十分な商業施設がある中で、なぜ市が市民活動をつぶしてまで新たな商業施設を建てるのか理解できません。 市に商業施設が1つもなく、市民生活に支障をきたしているのであれば、市が介入することに意義がありますが、そうではないのに私たちの税金を使うことは許されません。	本方針を策定するに当たって設置した検討協議会の報告書において、にぎわいの創出を核とした施設再編の考え方が示されるとともに、市民アンケートでは、民間事業者による活用を望む声も多くあったことから、新たな活用を定めたものでございます。 なお、商業施設を整備するに当たっては、市が土地を貸し付けた後、民間事業者が自ら施設を整備し、運営することになりますので、市の負担はないものと考えております。
27	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザは、解体し、店舗やオフィスで活用とあり、住居系の活用は行わないという案になっていますが、民間企業が土地活用に投資・参画する際は、それぞれの収益計画に沿って最適な活用を計画するわけで、商業地域での活用に自治体があらかじめ規制をかけるのは、良くありません。あえて行うのであれば、提出された各企業の活用計画を選定する段階で絞り込めば良いことです。低層階の商業利用は、条件化できると思うが、全体の規制は良くないことです。	一般的には、民間事業者の自由な発想による提案を受け、最も効果的なものを採用していくことになると考えますが、今回の再編では、にぎわいの創出という目的をもった活用を図るため、一定の制限は必要であると考えております。 なお、具体的にどのような形で提案を受けていくかという点につきましては、今後検討を行ってまいります。
28	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザは、市民文化の拠点としての機能を十分に果たしています。新たな商業施設と市民文化の拠点を天秤にかけたら市民文化の拠点が求められると思います。市政の仕事は市民が幸福感や満足感を持って暮らしていけるようにすることです。そのために私たちは税金を納めています。税金を有効に使ってください。	市税収入は、公共施設だけでなく、社会保障費やインフラの維持管理費など、様々な目的のために活用する必要がございます。この限られた財源を有効に活用していくためにも、公共施設マネジメントの視点から、見直しを進めていく必要があると考えております。
29	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザを解体し、商業施設とするという方針ですが、府中駅南口の再開発ビルは商業フロアが埋まらずにまだ募集を行っており、既存の商業施設も閉鎖が取りざたされているだけに、商業施設の誘致は無策ではないでしょうか。また、500人規模の演奏会場機能を持つけやきホールは府中駅南口新施設に計画されている小ホールでは代替えできません。また、府中グリーンプラザは府中市の優れた社会教育施策であり、この施策を後退してはなりません。府中グリーンプラザは絶対に存続すべきです。	商業施設には様々な形態がございますので、府中駅南口の商業施設と競合するような形ではなく、府中駅周辺の魅力あるまちづくりを共に進めていけるような形で取り組んでまいります。
30	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中駅前にある市有地だからこそ、市民のために使うべきではないでしょうか。「市民文化の向上を図るとともに、コミュニティ活動を増進するための施設」という府中グリーンプラザを計画した時の理想を思い出していただきたいです。営利に走って市民サービスを後退させないでください。	府中グリーンプラザを設置した当時よりも、市内の施設は充実していることから、それらを活用することによって、機能の補完や市民サービスの維持が可能と考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
31	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの建物は古くなりましたが、会議室は使いやすく、ホールもコンパクトな割に収容座席数があります。稼働率も悪くないですから、できるだけ修繕をしながら使い、必要ときには建て替えた方が良いのではないのでしょうか。文化活動の拠点として必要と思って建てたのではないのでしょうか。大事な建物には費用がかかっても仕方ないと思います。	これまで市では、府中グリーンプラザ以外にも、多種多様な市民の活動の場を整備してまいりました。それら施設の機能や稼働率、配置状況などを踏まえ、府中グリーンプラザは改修や建替えによって維持していくのではなく、新たな活用を図る必要があると判断したものでございます。
32	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	民間事業者の活用という聞こえはいいですが、業者が実際には自社の利益中心に活動しますし、民間業者がビルを建築すればにぎわいができるとは限りません。府中駅周辺のビルの中にも空きが目立っているものもあります。駅に近く、民間によるものであってもにぎわいとは限りません。特に上層階をオフィスにしたらにぎわいは、創出できないと思います。	新たな活用に当たっては、行政と民間事業者がお互いにメリットのある連携を創り出し、府中駅周辺の魅力あるまちづくりを進めてまいります。
33	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ分館は、中軽度の障害者の就労支援の事業所として活用してもらうことを提案します。駅に近く、免許を持っていない障害者や保護者も便利に使えます。軽度の障害者は、障害を理解されにくく、それが地域での生きづらさになっています。駅に近いところで作業所を作ることによって地域理解を深めます。また、幼児や学齢期の保護者も将来の子どもの姿を想像できて、安心する事が出来ます。建物内のショップや喫茶は、あゆのこの子どもたちが校外学習で利用します。色々な場所に行くことで幅が広がります。	府中グリーンプラザ分館内の喫茶・ショップ「は～もにい」は、障害のある方々の就労支援の機能を有しておりますが、この機能は再編後も同建物内に設置してまいります。
34	1	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	今回の方針案には、府中グリーンプラザの敷地を商業施設やオフィスにすると書いてあります。具体的にどんなものになるかはわかりませんが、今のままで良いということはないと思いますし、公共施設で良いということもないと思います。民間活用についても、以前から言われていることです。大きな課題を乗り越えるためには、検討ばかりしていないで、やってみてうまくいかなかったら見直して、また行うというようなチャレンジを大きな課題を乗り越えるためにはしていかなければなりません。早急に、グリーンプラザをはじめとする公共施設の見直しを行ってください。	モデル事業として取り組む「府中駅周辺施設の再編」をきっかけに、市内の様々な公共施設の更なる活用に向けて、取り組んでまいります。
35	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	仮に府中グリーンプラザを解体するのであれば、もっと開放的な場所を作ってください。今の施設は駅前で充実した施設だと感じていますが、知名度が不足、使いにくさがまだあると思います。もっと活用したい方がいるのにもったいないです。	今後、市内外から多くの人が集まる施設として、民間事業者の提案を受けながら、活用を図ってまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
36	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	ケヤキ並木の景観は人々の憩いの空間です。府中グリーンプラザの跡地に商業施設を考えているということですが、既に複数の商業施設があり、更に府中駅南口にも新たに商業施設ができます。貴重な市民の財産を土地は残すとはいえ、商業施設に売り渡すことは断固反対です。今回の府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)にある、半径500メートル以内に同様の施設を作りすぎた行政の失敗を再び繰り返そうとしています。ケヤキ並木に馴染んでいる府中グリーンプラザは改修しながら残すべきです。	府中駅周辺における施設の老朽化や機能の重複など、課題の解決を図るために再編を行うものであり、維持することは課題の先送りとなってしまいます。市民共有の財産だからこそ、最大限活用することが重要でございますので、新たな活用を図ってまいります。
37	4	22	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	拙速に処分を進めるよりも、府中グリーンプラザは耐震性もあることから建物を残し、改修をしながら使い方を工夫する取組を求めます。地下1階から7階部分は残し、2階から6階は企業を目指す若い方のためのシェアオフィスやものづくりのコーナー、子育てや介護に悩む人々の相談窓口や行政サービスが駅前で行える総合窓口を設ける等使い方は多岐に渡るように思いますので、検討していただくことを求めます。	建物の耐震性能の有無だけで、今後も公共が維持すべきかどうかを判断するのではなく、維持していくために必要となる運営費や改修費、他施設の配置や機能の重複状況など、公共施設マネジメントの視点から、総合的に判断する必要があります。また、府中グリーンプラザにつきましては、7階建ての施設の2～6階部分のみを見直すということではなく、施設全体として見直し、新たな活用を図る必要があると考えております。
38	4	23	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	民間業者への売却によって得られる目先の資金よりも、長期的な市民の公共施設としての財産価値を優位に置いていただきたいと考えます。民間に売却すれば、それは全く府中市という自治体が関与できないものになってしまいます。やはり、府中市民の財産として公共施設をどう活用していくのかは、中長期的な検討が必要ではないでしょうか。府中グリーンプラザは、これまでの市民活動の蓄積・経験から言っても、「資産活用」の観点で売却すると市の方針は、市民目線が欠落していると感じざるを得ません。	府中グリーンプラザの敷地は、駅前で非常に価値の高い資産であることから、売却は予定しておりません。活用に当たっては、市と民間事業者が連携し、協働して取り組んでまいります。
39	4	23	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	定期借地権の制度を安易に考えていませんか。定期借地権は、10年くらい前に始まった最近のもので、契約終了時の建物について、取り壊して土地を返還した例はまだないのではないのでしょうか。一度貸したら更新されて市民ニーズに柔軟に対応などできなくなるのではないのでしょうか。	定期借地権の制度は、平成3年の法改正により創設されたものであり、これまで多くの自治体において、当該手法を用いた取組が進められていると認識しております。定期借地権を活用せずに土地を貸し付けた場合にこそ、ご指摘いただいたような事例が発生するおそれがございますので、本方針では、定期借地権の活用を検討することとしております。
40	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ5階の展示ホールは、あらゆる文化系の発表の場として利用されてきました。それにふさわしい場の提供を、今回の公共施設の再編のなかでぜひとも確保してもらいたいです。多方面の活用場として価値があると思います。	既存の展示ホールの機能は、再編に当たって廃止することとしており、全く同じ機能を他の施設で確保することは困難ですが、他施設の会議室などを、市民活動の発表の場として活用いただけるよう対応してまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
41	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザにある8つの会議室も、中央文化センターの6つの会議室も稼働率は80%です。府中グリーンプラザの会議室利用者は、同種の機能を活用せよ、ということですが、ふれあい会館も店舗やオフィスビルに転用するのであれば、府中駅南口の新施設に整備予定の8つの会議室を見込んでも市民活動に支障が出ます。「あらゆるライフステージを通じた学習機会の場とその拡充」に努めたはずの生涯学習構想は霧散霧消したのでしょうか。	府中駅周辺には、中央文化センターだけでなく、市民会館や教育センター、ふれあい会館の会議室機能があるとともに、今後、市民活動拠点施設を、府中駅南口に新たに整備することなどから、府中駅周辺における会議室機能はこれまでと同程度確保できていると考えております。
42	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	「市民協働」の立場からすれば、会議室利用者が自主運営にあたるフロアセブン協議会の役割は重視されてしかるべきです。店舗やオフィスに貸付け、企業に委ねることは、こうした実績を持つ自主運営の誇りを傷つけます。「市民の視点」から再編計画を見直すことを要望します。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
43	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会の設立は、府中文化振興財団の基本方針の一つである、市民の自主的な地域文化活動の育成とふるさと意識の高揚に努めることを目的とし、スペースの自主管理は地域文化活動の奨励、援助に関する事業の一環として誕生したと認識しています。今回の府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)は、フロアセブン協議会の設立方針とは逆行する方向にあるように見受けられます。市の将来の財政面に対する懸念は理解できますが、市民の市民による自発的な文化活動の育成に対して、配慮が乏しすぎる感が否めません。よって、府中グリーンプラザの現在の機能が失われる場合は、府中駅から半径500メートルの範囲内でその代替スペースの提供を強く要望します。(外14件)	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。 なお、現在フロアセブン協議会が使用する形と同様のスペースを新たに設けることは、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、設置する予定はございません。
44	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中駅南口の新施設では、レイアウトや料金体系など府中グリーンプラザの現行機能をどこまでカバーできるのか具体的には不明確です。	府中駅南口の新施設の詳細はまだ確定しておりませんが、府中駅周辺、また市内の各施設において、これまでと同程度の機能は補完し合えるものと考えております。 なお、使用料につきましては、受益者負担の原則を踏まえ、適正な設定を行うことが必要であると考えております。
45	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	NPO・ボランティア関連の登録団体の多くから、府中グリーンプラザの使用料が支出できる限界であり、市民会館並みの使用料では活動できないという意見が出ています。	施設によって使用料は異なりますが、ご利用いただく方にも適切なご負担をいただくことが重要であると考えております。 【参考例】 平日の午前中(3時間)、会議室を利用した場合の使用料 府中グリーンプラザ 600円～1,300円:1室 市民会館 800円～1,400円:1室

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
46	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの取り壊しの理由として、建物が古くなり維持に費用がかかる、府中駅北口駅前ににぎわいの創出するため、近くに同様の機能を有する施設がある、府中駅南口に新施設ができるといったことが挙げられていますが、現在の府中グリーンプラザの機能を補えるとは考えられません。 市は、フロアセブン協議会の発足の経緯、これまでの歴史を十分考慮し、府中グリーンプラザの建物について適切な修復工事による存続を強く要望します。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
47	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザが安い料金で借りることができ、たくさんの自主グループやサークルなどが使用していることは知っていました。そういう意味では、行政ならではの役割を文化の側面で果たしている場所とやっていいのではないのでしょうか。ただし、フロアセブン協議会に登録すると、年間800円で施設が利用できるというのは、あまりにも安すぎると思います。現在のそういった既得権的なことはやめ、しっかり運営していくために貸出料金やシステムを見直すべきだと思います。	府中駅周辺には、自主グループやサークル活動の場としてご利用いただける施設が、府中グリーンプラザ以外にも整備されており、それらをご利用いただきたいと考えております。 なお、使用料や運営につきましては、府中駅周辺の公共施設に限らず、広く市民が、適正な負担のもとでご利用いただけるよう、見直しを進めてまいります。
48	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの7階で行われている行事を市報で知り、色々な行事に参加してきました。身近には、地域の文化センターもありますが、府中グリーンプラザの7階で行われている取組もとても良い居場所です。これからも、ひき続き安心して利用できるように、市が管理していただきたいと思います。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
49	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	まだ使える建物を壊し、使用している人を無視した考えに納得しません。フロアセブン協議会の役員になって初めて、高齢者をはじめ、たくさんの方々が盛んに活動しているのを知りました。駅から近く、帰りに飲食を楽しみにしている人も多いようです。このような文化施設は二度とできません。府中のけやき並木とマッチした府中グリーンプラザは残すべきです。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
50	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会は登録団体から役員を出して運営しており、府中市が他市に誇るべき市民活動です。 こうした活動についての評価が全くなく突然廃止とされることは納得できません。	フロアセブン協議会の運営のされ方や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
51	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	意見交換会では、府中グリーンプラザの代替施設として南口再開発ビルの5、6階の機能が紹介されました。しかし、これは代替施設ではありません。無料が有料になるのであれば、市の基本ポリシーが示されるべきです。市場価格と同等にするのか、その半値くらいにするのか、あるいは1割程度にするのか、それだけでもそこにおける意義は全然違ってきます。しかし、市は、単に有料化するとだけ説明し、どのくらいになるのか、その根拠は何かを全く説明していません。これでは、代替になるのか否かの検討すらできません。	本方針の27ページに記載のとおり、廃止する機能については、代替の機能を新たに確保するのではなく、市内の機能を活用することで補完することとしております。その機能の1つである府中駅南口の新たな施設(5、6階)につきましても、府中グリーンプラザの代替施設としてではなく、市民の自発的かつ継続的な市民活動を積極的に支援し、促進するための施設として整備するものでございます。また、使用料につきましては、平成26年5月に策定した「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」において示した、①利用者負担の見直し、②減免基準の見直し・無料施設の有料化、の考え方に基づき、基準使用料を算出し、設定してまいります。
52	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中駅南口新施設の5、6階を市が借りるという話があったとき、府中グリーンプラザの廃止は議論されていません。これが代替になるということ自体後付けです。府中グリーンプラザ廃止をいうのであれば、まず南口再開発ビル5、6階を市が借り上げること自体をやめるべきです。南口を借りるのにお金がかかるから市民活動はつぶす、というのでは本末転倒です。	府中駅南口の新たに整備する施設につきましては、府中グリーンプラザの代替施設としてではなく、市民の自発的かつ継続的な市民活動を積極的に支援し、促進するための施設として整備するものでございます。
53	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	現在のところ、市民活動支援課、生涯学習スポーツ課など、市民活動に関わる部署からの説明がありません。建築施設課以外からの説明が必要です。市が市民活動についてどのように考えているのか、説明を求めます。	市民活動とは、市民が自主的かつ積極的に展開する文化やスポーツ等の様々な活動だと認識しております。このような全市民が対象となる市民活動を、一定の基準の中で公平に支援していくことが肝要であると考えております。
54	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	先日の意見交換会で、府中駅南口新施設5、6階の機能について、5階には市民が自由に使えるスペースを確保するという説明がありましたが、具体的な使い方が見えてきません。いざ自由に使おうとしたらさまざまな制約を課せられた、というのでは話になりません。きちんとした説明を求めるとともに、説明がないまま府中グリーンプラザを解体することには絶対反対します。	府中駅南口の新たな施設の一部には、オープンスペースとなる市民活動交流スペースや団体活動スペースを設け、自発的かつ継続的な市民活動を支援してまいります。ただし、公共施設という性格から、使用に当たっての一定のルールは必要であり、その運用方法を現在検討しているところでございます。なお、これらのスペースは、府中グリーンプラザの機能を代替するために設置するものではありません。
55	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザで小中学生の学習支援をしています。支援している子は、ひとり親世帯の子、障害のある子など様々です。府中グリーンプラザの解体と新施設での自主運営を認めないという市側の見解を知りました。無料で使用できる施設がないとボランティア活動はできません。新しい施設の一部を今までのように無料で使用できるようぜひ再検討をお願いします。又は、府中グリーンプラザの7階を登録団体の自主運営での使用を認めてください。私たちの活動とささやかな親子の居場所をなくさないでください。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。また、使用料につきましては、平成26年5月に策定した「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」において示した、①利用者負担の見直し、②減免基準の見直し・無料施設の有料化、の考え方に基づき、基準使用料を算出し、設定してまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
56	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	学校職場のいじめ問題に取り組む活動をしています。この度の府中グリーンプラザを解体し商業施設にする、併せて我々のサークル活動を支えているフロアセブン協議会の存続も認めないという市政方針の撤回を求めます。引き続き、安心して活動できるよう、府中駅前の一等地を我々弱者のために使っていただけるようお願いいたします。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
57	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)では、府中グリーンプラザは、処分を検討となっていますが、府中グリーンプラザは駅前で大変便利でずいぶん利用させていただいています。駅前なので夜の催しや会議にも参加できていたのに、その施設が処分されるのは困ります。フロアセブン協議会の使用している7階は、利用料が安く、予約の競争率が高いと聞いています。ぜひ市の施設として残していただきたいと希望します。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
58	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの会議室の稼働率は80%、音楽練習室は94%と高い。94%ということは使用したい人は実際の利用者の1.5倍はいるということと思われます。それに対して、府中駅南口新施設で新たに整備される部屋の数も同数というのは、ニーズの把握と対応という観点からは疑問で、公共施設の施設改善になっていません。使用制限等での対応は、施設の改廃という時期の案としてはお粗末としか言えず、駅前立地での音楽練習室の更なる増設が必要です。	府中駅周辺には、民間の音楽スタジオ等もあり、このような民間の営業を圧迫することなく、しかも、公共施設の限られたスペースを有効活用し、整備することで、公民のバランスの取れた市民サービスが展開できるものと考えております。
59	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	市外のものですが、フロアセブン協議会の登録団体として長い間府中グリーンプラザを利用させていただいてきました。定年後の人生の楽しみとなっている活動の拠り所となっている施設です。まだ充分使用できると聞いていますので、なくさないください。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
60	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会の登録団体として活動しています。府中グリーンプラザの民間移行に反対です。府中グリーンプラザは市民にとって貴重な集まりやすい場所にあります。メンテナンスをして、市民が安価で使える公共施設としてぜひ残してください。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
61	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの自主グループで活動しています。府中グリーンプラザは家から近く、足の悪い私も杖を使って何とか通うことができ、家にこもりがちな時でも、とても便利に使用させていただいています。帰りには買い物をすることもできますので、私にとっては、とても重要な施設です。ぜひ存続をお願いします。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
62	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザのフロアセブン協議会の登録団体です。老朽化等から処分を検討とありますが、これからも使えるのか気になっています。会員相互の親睦等に利用している側なので、府中グリーンプラザの処分は市民の活動をなくすというものに等しいです。	府中グリーンプラザの設置目的やそで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
63	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)では、ギャラリーもなくなるということですが、これではますます市民の活動の場がなくなってしまいます。隣接している国分寺市や国立市にはギャラリーがたくさんあります。市民の活動の場もギャラリーもない市が、市民にとって幸福感や満足感の持てる市とは言えません。きちんと市民の活動できる場所を確保してください。	ギャラリー機能につきましては、美術館に市民ギャラリーがあり、その他会議室などもご利用いただくことで、機能を補完することができると考えております。なお、国分寺市や国立市など近隣自治体の例をみても、ギャラリー専用のスペースを備える公共施設は1箇所程度という状況でございますので、本市の公共施設におけるギャラリー機能が極端に少ないということはないものと考えております。
64	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	手話講習会や大会のため、年に何回かホールを使用しています。今後80～150名くらいの講演等の行事開催はできるのでしょうか。府中グリーンプラザのけやきホールは、駅に近く、利用料も安いので助かっています。収容人数も中央文化センターより多数入れるのが魅力ですので、ホールも駅の近くにあると助かります。	府中駅南口の新たな施設には、200～300人程度を収容するホールを整備してまいりますので、そちらをご利用いただくことが可能と考えております。
65	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ廃止がそのまま「貸館機能の廃止」に直結することは非常に乱暴な議論ではないでしょうか。「同種他施設で補完可能」と市は主張していますが、なぜ府中グリーンプラザの機能の維持と確保が必要ない、と結論づけてしまうのでしょうか。府中駅を降りてすぐ駅前にある府中グリーンプラザは、他の「同種の施設」では代替不可能な価値を持っています。いわば、府中市の顔とも言える公共施設です。仮に府中グリーンプラザを建て替えるとしても、その機能を維持した「代替施設の確保」が絶対に必要だと思います。他の施設で補完可能であるとは思えません。駅前の利便性の確保とフロアセブン協議会に加わっている団体による無料での利用の形態はそのまま維持されるべきだと思います。	府中グリーンプラザの機能は、各機能で利用状況に差があり、それら機能を全て維持することは、非効率的な施設運営を招いてしまいます。また、無料で使用できる会議室につきましては、受益者負担の原則に基づき、見直す必要がございます。これらのことから、新たに代替施設を設けるのではなく、市内の各種施設で補完し合うことで、課題の解決を図ってまいります。
66	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会の登録団体として施設を利用していますが、府中グリーンプラザの建物は古くはなりませんが、府中が誇る素晴らしい施設だと思っていますので、今回の様な市民の文化活動を切り捨てるような案には反対です。従来どおり使用させていただきたいです。	府中グリーンプラザの設置目的やそで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
67	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	意見交換会に出席して感じたことですが、全ての発言者が、反対もしくは再検討を望む、との意見でしたし、府中グリーンプラザの利用者やフロアセブン協議会の関係者からも、賛成意見は全く聞いていません。よって、短兵急な議論で本施策を進めるのではなく、市はより慎重に検討を進めるスタンスに転換すべきではないかと思えます。今年度中に基本方針を決定し、府中グリーンプラザを解体し、なし崩し的にフロアセブン協議会をも廃止してしまいうやり方は、多くの市民の反発を招くのではないのでしょうか。基本方針(案)を一旦白紙に戻し、再検討をしていただけるよう要望します。そして、再検討にあたり、より市民目線、利用者の肉声を拾い上げる進め方に変更していただけるよう要望します。	府中グリーンプラザにつきましては、平成26年4月に、「府中市公共施設の最適化に向けた検討の方向性」を策定し、短期的な取組として、処分を検討することを定めた後、同年8月に策定した「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」で示す、モデル事業の枠組みや検討スケジュールに基づき、本方針の策定に至ったところでございます。この検討を進める過程では、それぞれの段階において、意見交換会やパブリックコメント手続、検討協議会、市民アンケート、利用者アンケートなど、様々な形で広く市民の声や意見を集めながら進めてまいりましたので、改めて検討をし直すことは考えておりません。
68	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	意見交換会では、にぎわいのある街づくりのため府中グリーンプラザを売却し、商業施設に、との説明でした。25年ほど前にフロアセブン協議会が誕生し、登録団体が持ち回りで運営に当たり、その協議会を、市が市民のコミュニティー活動として支援しています。このフロアセブン協議会は、他市にない府中市の誇るべき市民への貢献活動ではないかと思えます。府中グリーンプラザは存続してください。耐用年数もあると聞きます。補修工事などで存続させてください。	府中グリーンプラザの設置目的やそで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
69	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ分館のギャラリーの閉鎖が示されています。府中駅南口の新施設等に展示スペースが確保されているということですが、利用してきた芸術家などは「ギャラリーはそれ相当の機能が求められており、スペースは確保されているという発想はきわめて貧弱である」と言っており、この機能は存続すべきです。	府中駅南口の新たな施設には、展示スペースを設置する予定はございませんが、市内には美術館の市民ギャラリーがございますので、展示する内容に応じて、市民ギャラリーや会議室などの諸室をご利用いただきたいと考えております。
70	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会に登録している団体は、現在108団体あり、活発に活動しています。使用の申込が重複し、部屋が取れず、活動を中止しなければならない時もありますので、増やしていただきたいと希望しています。	府中グリーンプラザの設置目的やそで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。なお、現在のフロアセブン協議会が使用する形と同様のスペースを新たに設けることは、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民や団体との公平性を確保できないことから、設置する予定はございません。
71	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会の登録団体による活動は、廃れているわけではなく、ますます隆盛なものですから、フロアセブン協議会へ文化活動の場を提供することは、市民ニーズに対応することになりませんか。柔軟に対応いただき、安心して利用できるようにしてください。	府中グリーンプラザの設置目的やそで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
72	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの1階と地下のトイレの利用人数を調査したことはありますか。多くの人が利用しており、大変便利です。残してください。	府中駅周辺における公衆トイレの設置につきましては、様々な場面でご意見をいただいておりますので、検討してまいります。
73	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザ1階のオープンスペースは、市の中央にあり自由に集まって飲食もできる唯一の場所ですので、残してください。ルミエール府中にもオープンスペースはありますが、食事はできません。生涯学習センターにも食事室はありますが、中心部から外れていて使いにくいです。	公共施設として整備する必要性を改めて検討する必要はございますが、今後の施設の活用策を検討する際、参考とさせていただきます。
74	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会を残してください。市民団体が協議会を作って運営していいです。印刷室と2部屋の会議室、およびロッカーがあり、年会費とロッカー使用料を支払います。年会費のみで会議室が利用できる点が、市民団体にとっては大変ありがたい点です。	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。
75	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	市の府中グリーンプラザの施設を廃止し、商業施設等に変更する計画は市の20年後、50年後を見据えた長期的な計画だと思います。我々市民も府中駅を中心とした地区が再開発により、活性化されることは大いに賛成です。しかしながら、今回の計画で府中グリーンプラザで行われているフロアセブン協議会の自主運営を認めないという方針案については、次の理由から従来どおりの自主運営の継続を認めるようお願いいたします。市は従来通り市民の高い教育、生活レベルを維持し、生涯にわたり学びやすく、生活しやすい府中市にするため、フロアセブン協議会の自主運営について再考する事を強く要望します。	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。
76	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	都内でも先進的な社会活動を行ってきたフロアセブン協議会の自主運営方式を後退させず、少なくとも現行方式を維持するか、もしくは新たな施設で自主運営方式を取り入れ、安価で利用しやすい社会教育活動を継承していただきたく、フロアセブン協議会の自主運営方式の継続を認めるよう要望します。	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。
77	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	少子高齢化の進展を迎え、生涯にわたり学びやすく、かつ生活しやすい府中市にするため、フロアセブン協議会の自主運営方式を継続してください。具体的には、現行の府中グリーンプラザでの活動継続、あるいは新施設に移行する場合は、新たな自主運営方式での実施により、市民が安価で利用しやすい方式を導入してください。	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
78	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	市の「いつでも、誰でも学習できる環境づくり」という精神の下に設立されたフロアセブン協議会のおかげで長年、府中グリーンプラザを生涯学習の場として利用させていただいてきました。フロアセブン協議会の自主運営を廃止してしまえば、費用負担の増加により、学習から足が遠のいてしまう人も多数出ることでしょう。結果として多くの市民から生涯学習の機会や人生の希望を奪うことにもなりかねません。また、既に府中駅の南口には十分は商業施設があり、これ以上の商業施設を北側に作る必要があるとは思えません。それよりも文化施設の拡充ではないでしょうか。生涯学習を誰もが安心して続けられるよう、建替え後もフロアセブン協議会の存続をお願いします。(外2件)	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民や団体との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。
79	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザのフロアセブン協議会の登録団体となる前は、喫茶店などで運営委員会を行っており、例会が出来ずにいましたが、登録団体となり定期的な例会を行うことができ、参加者が増えました。府中グリーンプラザという駅前の立地条件の場所を失うとどれだけ影響が出るか計り知れません。また元の状態に戻るのでは危惧を抱いています。文化センターなどの他の施設も他のサークルとの競合で予約がちゃんと取れるか不明です。老朽化はやむを得なく、いつかは建て直すときも来るでしょうが、今ではないはずで。市民のための市政というならば、市民のための施設を造るよう再編してもらいたいです。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。
80	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザのフロアセブン協議会の継続を切望します。フロアセブン協議会の登録団体として活動しています。文化センターの無料枠なども活用し、活用費の面でも施設に恵まれていることでも助かっています。今回の府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)では、さらに肉付けして市民が安価に使える会場、市と共に自主運営ができる施設の拡充をお願いします。企業向けの有料施設は二の次だと思います。	府中駅周辺公共施設の再編は、建物ではなく、機能に着目して進めており、再編後も、市が保有する公共施設全体としては、会議室やホールなどの機能は同程度確保してまいります。なお、使用料につきましては、受益者負担の原則を踏まえ、適正な設定を行うことが必要であると考えております。
81	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中市グリーンプラザの7階にはフロアセブン協議会があり、自主運営により市民活動を30数年前から広げ、100を超える登録団体が活動しています。集う拠点があることや年間800円という安い運営料金である事がポイントです。府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)で、使用料金や使用日数の制限について、他施設を使用する団体と同じ扱いとするのが良いとあるのは、市民活動を応援し、豊かな文化を保証していくべき市の姿としては違和感があります。ぜひ市民団体をより育てるよう、施設使用料を無料もしくは安価にする方向へ案を変更してください。	府中駅周辺公共施設の再編は、建物ではなく、機能に着目して進めており、再編後も、市が保有する公共施設全体としては、会議室やホールなどの機能は同程度確保してまいります。なお、使用料につきましては、受益者負担の原則を踏まえ、適正な設定を行うことが必要であると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
82	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザの音楽練習室を使って、和太鼓の学習をしています。恵まれているとは思いますが、太鼓の使用ができる施設は市内に限られています。府中駅南口新施設にも音楽室ができるようですが、更なる拡充を期待します。武道やダンスの使用との住み分けもあるといいかもしれないと思います。	府中駅南口新施設に設置予定の音楽練習室は、グリーンプラザの音楽練習室と同等以上の音楽活動が展開できる施設として整備を進めております。音楽活動の中には、ダンスやヨガ、リトミックなども楽しめるよう考えております。
83	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザのフロアセブン協議会の登録団体として障害児が普通学級で健常児と一緒に学び育つことを求め、長年活動しています。毎月の例会のほか、月1回の機関誌を発行しており、郵送代がかかるので無料の施設が使えることに感謝しています。今年3月に出された府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の報告書にはフロアセブン協議会が運営している無料で使用できる部屋を廃止して有料化する方向が打ち出されています。また、府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)について、担当課からの説明でも府中グリーンプラザの処分ありきの議論が先行しているようで不安を払拭できません。このままでは、フロアセブン協議会の存続も危惧されますので、府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)及び府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の報告書に反対します。	府中グリーンプラザの処分の議論よりも前から、フロアセブン協議会における施設利用のあり方は議論を行ってきていたものでございますので、検討協議会からの報告書の内容や府中グリーンプラザの処分の可否に関わらず、あり方の見直しは必要であると考えております。
84	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	障害児、障害者にとって交通機関のアクセスは重要なことです。駅から近く、バリアフリーである府中グリーンプラザは最適の条件を兼ね備えています。府中グリーンプラザにおいてフロアセブン協議会の活動が継続できることを求めます。	現在のフロアセブン協議会における施設利用につきましては、予約方法や使用料などの面で、同種の施設を利用する他の市民との公平性を確保できないことから、見直す必要があると考えております。
85	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	今年3月に出された府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の報告書の中に、フロアセブン協議会の解散を示唆するように読み取れる箇所があります。自主運営をしている協議会に対する不当な干渉で、行政の越権行為です。怒りを禁じえません。真摯に話し合いで解決することを求めます。	検討協議会からの報告書につきましては、第三者の視点からご議論いただいた結果であり、真摯に受け止め、今後の取組につなげていく必要があると考えております。なお、同報告書の中では、フロアセブン協議会の組織や解散について触れたものではなく、同協議会が管理する会議室の運用を見直す必要があるという内容で記載されております。
86	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	フロアセブン協議会の登録団体には、福祉、社会教育、各種ボランティア、市との協働に取り組む団体や趣味などを共有する団体があります。それぞれの活動は社会的にも高い評価を得ています。行政の仕事として、市民ニーズを的確にとらえ、市政に反映させることが求められますが、残念ながら当事者に聞く姿勢が見られません。フロアセブン協議会の登録団体には高齢者の生きがいを手助けする団体や趣味を楽しむサークルが数多くあります。高齢者の健康増進に果たす役割や医療費の抑制効果等の波及効果はお金には換算されません。フロアセブン協議会を廃止する議論は、即刻やめるべきです。	府中グリーンプラザの設置目的やそこで行われてきた活動、フロアセブン協議会の運営など、それぞれの目的や経緯は踏まえつつ、将来を見据え、各種状況の変化に応じた改善や見直しは行っていく必要があると考えております。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
87	4	27	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	意見交換会では利用者の応分の負担のことも述べられていました。フロアセブン協議会がお預かりして運営している部屋は3部屋あります。仮に年間稼働率を80%とすると年間2,400コマ程度が使われることとなります。利用料金を1,200円と仮定して計算すると年間利用料は、290万円くらいにしかありません。この程度のお金を節約して、利用者に応分の負担を求めて公平感を求める議論は不適当です。むしろ各団体の取り組んでいる健康づくりなどの取組による、医療費の抑制効果などソフト面の数字に表れない波及効果にこそ関心を向けるべきです。したがって利用者からの受益者負担の撤回を求めます。	公共施設は市民共有の財産であり、施設を維持及び更新していくためには、施設の使用料のほか、市税等も投入して、その経費に充てております。そのような観点から考えますと、施設を利用するしないに関わらず、全ての市民の皆様はその費用をご負担いただいております。そのようななか、特に施設を利用する方には、原則、その利用の対価である使用料をご負担いただくことで、市民間の公平性を確保していく必要があると考えております。
88	4	28	方策1「公民連携による府中駅前の公共施設の新たな活用」	府中グリーンプラザが、一連の施設再編と同時期にとりこわされるのは反対です。府中グリーンプラザは、築年数が34年であり、ふるさと府中歴史館より14年も新しく、保健センター、教育センターと同程度の築年数です。小規模な補修でまだしばらくは、使用に耐えられると理解しています。府中駅南口の新施設の詳細が明確になる時期、あるいは稼働してから改めて総合的に検討するべきと考えます。	府中駅周辺の公共施設に係る課題は、府中グリーンプラザを維持していることで解決するものではないことから、むやみに課題の先送りはせず、長期的な視点を持って判断していく必要があると考えております。
89	4	31	方策2「機能向上や効率的な施設管理等を旨とした移転及び統合」	ふるさと府中歴史館の活用に、「旧中央図書館の整備に伴い大國魂神社から取得した当該敷地を、同神社の意向を踏まえた活用につなげることによって、府中らしさの残る良好な景観と環境の確保を図る。」とありますが、これは、神社への経済的援助のために市が土地を購入し、かつ市の所有権が制限されている表現となっており、政教分離の理念に抵触することが連想されます。「大國魂神社を含む周辺環境を踏まえた活用とし、」というような表現とし、神社との権利関係には触れない表現とすべきです。	ふるさと歴史館及び宮町図書館の敷地につきましては、市の事業実施のために購入したものであるとともに、その土地に係る権利は、市が保有するものでございます。しかしながら、当該敷地は、国指定史跡である武蔵国府跡の一部であり、かつ大國魂神社と隣接しておりますので、良好な景観と環境の確保といった視点からも、一定の配慮が必要と考えております。なお、表現につきましては、ご指摘いただいた点を踏まえ、一部修正を行います。
90	4	31	方策2「機能向上や効率的な施設管理等を旨とした移転及び統合」	ふるさと府中歴史館は、心身障害者福祉センターにすることを提案します。市役所から近く、何かと行政の手続きが多い障害者にとって便利です。ショートステイ用の部屋や、就労継続支援A型の事業所、特例子会社などを設けます。また、実際に試すこともできる料理実習室や福祉機器展示ホールを設けます。障害のある方のアート作品を展示するスペースを設けます。	当該敷地につきましては、国史跡武蔵国府跡の適切な保全や、府中らしさの残る良好な景観と環境の確保を図らなくてはなりませんので、新たな建物の整備は慎重に検討する必要があると考えております。
91	4	31	方策2「機能向上や効率的な施設管理等を旨とした移転及び統合」	けやき教室など教育センターは市内の教育活動を進める重要な施設となっています。府中駅北第2庁舎への移転等に不安を抱く関係者もいます。教育委員会、利用者など関係者の意見は入っているのでしょうか。今の施設の存続を求めます。	教育センターにつきましては、教育委員会とこれまで協議するなかで、相談室や各種諸室に係る課題を解決するとともに、アクセス面も改善できることから、府中駅第2庁舎への移転という考えをまとめてまいりました。今後、教育委員会が主体となり、再編に向けた具体的な検討を行うなかで、利用者等のご意見を伺いながら進めてまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
92	4	31	方策2「機能向上や効率的な施設管理等を旨とした移転及び統合」	現在の教育センターは、幼児から学齢期向けの障害者福祉センターにすることを提案します。駅から500メートル以内で、敷地が広く十分な駐車スペースがあります。具体的には、「あゆのこ」の機能のほか、小学生から高校生までの放課後デイサービスや図書室、室内プールを設けます。外には、遊戯や知己山を整備し、変化にとんだ交流の場にします。また、ミニ動物ランドを造り、平日は障害を持つ子が動物セラピーとして利用するとともに休日等は一般に開放して、障害のあるなしに関わらず、子どもたちが遊べる場とします。同じ建物を幼児から学齢期の子どもが利用することで保護者も交流しやすくなります。	整備に当たって必要となる機能や長期的なニーズなどを検証した上で、今後の活用の参考とさせていただきます。
93	4	31	方策2「機能向上や効率的な施設管理等を旨とした移転及び統合」	府中駅北第2庁舎に教育センターの教育相談部門を移転することに反対します。学校に行きたくても行けない、200人を超える不登校児童・生徒に対してどのような考えを持っているのでしょうか。子どもたちの立場に立って気持ちをよく理解して考えてほしいです。学校には行けなくても教育センターで勉強して高校に進学した中学生もいます。子どもの学習権、教育を受ける権利をどういう方法で保障してくのでしょうか。近隣の市では学校とは違う独立した建物を造り、子どもたちが教育を受ける権利を保障しているところもあります。府中駅北第2庁舎は、工業技術情報センターや環境保全センターなどがあり、自由に市民が入り込みます。そのような入口を通して、相談や学習に来る子どもは抵抗を感じると思います。	教育センターの機能のうち、各種相談等を行う諸室については、移転に伴い、部屋の規模や配置などを見直し、量と質の両面でより良い環境を整えることができると考えております。なお、施設の入りにつきましては、現在の教育センターにおいても、会議室は市民活動の場として利用され、多くの市民が入り込んでおりますので、市民が入り込む場という面では大きな変化はないものと考えますが、機能ごとにフロアを分けるなど、一定の配慮は必要であると考えております。
94	4	36	方策3「最適化と財源確保を両立する資産活用」	現在の旧保健センター分館は、成人用の障害者福祉センターにすることを提案します。駅から500メートル以内で、敷地が広く十分な駐車スペースがあります。室内プールや、ショートステイ用の部屋、就労継続支援A型の事業所や就労支援として喫茶室を設けます。喫茶室はあゆのこの子どもたちがお金の使い方や公共の場でのマナーを学ぶ校外学習の場としても利用できます。また、さくら通りに面しているため、地域の人達のにぎわいの場にもなります。外庭を造り、平日は成人の障害のある方たちの居場所になります。休日等は一般に開放します。	新たな公共施設を整備するに当たっては、必要となる機能や長期的なニーズ、民間事業者の活用可能性など、様々な点から検証する必要があり、早急に新たな活用が求められる旧保健センター分館の活用策としては合致いたしません。今後、他の施設における活用の参考とさせていただきます。
95	4	41	方策4「運営の見直しによる資産活用」	保健センターの健康増進室は、毎日一定程度の方々が、医者に任せられるのではなく、自身で健康管理を行い、病気、怪我予防を行う場として活用されている意義をもっと高く評価すべきではないでしょうか。現在のままの健康増進室の利用を主張している訳ではなく、パパママ学級やリフレッシュセミナー、からだスキャン等の事業が、ウィークデイでもやれるような複合的な活用を取り入れてもらいたいと思います。結果として高齢者が多くなっている現在、いきいきプラザの事業の紹介と連携を模索し、より健康増進に役立つ情報を伝え、通っている方々と共有する機会を作ってもらえたらと思います。	市民自らが、健康管理を行い、病気、怪我予防を行う場として活用していることについては、市としても評価しております。今般の健康増進室の運用見直しは、多様化する市民ニーズに対応していくために、スペースの有効活用を図っていくものです。これらに係る市民との情報共有の機会については、今後も施設の所管課において実施を進めてまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
96	4	41	方策4「運営の見直しによる資産活用」	<p>現在、健康増進室の使用方法について、市と利用者として議論をしています。当初市は、乳幼児の発達支援や、幅広い層を対象とした新たなニーズの導入のためのスペースの有効利用や危険除去のため、古い運動機器やあまり使わない機器の撤去を検討したいという意見でした。これに対しては、利用者側も妥当な範囲なら協力したいという姿勢でした。しかし、その後、乳幼児の発達支援事業を行うに当たり危険を除くため、機器を2分の1撤去したいという話が市側から出されました。これは、あまりにも大規模な変更で、増進室の機能を大きく損ねてしまいます。そもそも機器のあるトレーニング室をそのような目的に利用することが問題だと思われまます。他の部屋ではダメなのですか。これは、健康増進室を今後廃止に追い込むステップなのかと懸念されます。</p>	<p>今後、健康増進室で実施する健康増進事業では、マシンを利用しない多彩なプログラムを提供し、様々な年代の健康増進ニーズに対応したいと考えております。</p> <p>このことから、マシンを撤去しても、健康増進室の機能が大きく損なわれることはないと考えております。また、今般の健康増進室の運用見直しは、多様化する市民ニーズに対応していくために、スペースの有効活用を図っていくもので、健康増進室そのものを否定するものではないと考えております。</p>
97	4	41	方策4「運営の見直しによる資産活用」	<p>府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)の趣旨には、施設の有効利用、効率的かつ効果的な活用方法を検討するとありますが、保健センターの中にはかなり稼働率が低いと感じる部屋もあります。歯科の休日診療のための部屋は、平日稼働していないとすれば、もったいないことです。休日診療を行う歯科診療所もかなり増えてきています。</p> <p>休日の歯科診療が市の委託事業であるなら、契約を見直すことも検討するいい機会だと思えます。</p> <p>そうしてスペースを確保し、長期展望のもとに安定的で有意義な健康事業展開を図ることが肝要だと思えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、休日に開業している歯科医も増えてきている状況ではございますが、多くの市民が休日歯科診療を利用している状況もございまして、現在においても、休日歯科診療は、保健センターの重要な役割の1つであると認識しております。また、平日は乳幼児歯科検診事業や幼児教室等を年間180回以上実施しております。</p> <p>両事業とも、使用する資機材等、事業規模も大きく、その都度設営することは困難ですので、当該フロアにつきましては、変更予定はございません。</p>
98	4	41	方策4「運営の見直しによる資産活用」	<p>現状の形での健康増進室の利用者のニーズは成長を続けている事業です。府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)には、公共施設を取り巻く課題の1つとして多様化するニーズへの対応とありますが、実績のある健康増進室のニーズは本物です。「健康府中21」をまさに体現したような健康増進室の運動構成の現状維持をお願いします。</p>	<p>利用する方々にとってニーズの高いリズム体操等のソフト事業は、今後も引き続き実施してまいります。</p> <p>その上で、多様化する市民ニーズに対応していくために、スペースの有効活用を図ってまいります。</p>
99	6	53	公共施設マネジメントの取組全体への反映	<p>市は、文化や芸術といった分野にお金をかけすぎではないでしょうか。もっと子どもたちのためにお金を使ってもらいたいです。地域の学校や地域の人が集まるための文化センター、保育園や子育て支援のためにもっとお金を使ってください。そうすれば子どもたちは府中が良い場所というイメージで育ち、大人になっても府中に住み続けてくれます。</p> <p>大人のための場所は、既にこれだけ充実していて、市外にもたくさんあります。高齢者のため、と言うかもしれませんが、そうであるならば、声を挙げられない子どもたちの声を軽視しすぎです。府中駅周辺だけが問題ではありません。この方針で終わりにせず、公共施設の見直しを続けていってください。</p>	<p>これまで整備してきた良好な公共施設を、将来の市民に過度な負担を負わせることなく、適切な量で引き継いでいくため、公共施設マネジメントに取り組んでいるところでございます。</p> <p>限られた財源を効果的に活用していくため、老朽化の状況とともに、施設の公共性や重要性なども考慮しながら、引き続き、施設の最適化と計画的保全に努めてまいります。</p>

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
100	-	-	その他（取組の進め方）	意見交換会では、府中グリーンプラザの施設を減価償却費分の資金で補修を行い、存続させてはという意見もありましたが、ほとんどの意見は現在使用している施設の改廃・移設についての不安であったと思われる。計画が決定しないと、現場での説明ができない事情も理解できますが、ある程度利用者の意見が汲み上げられ、計画の変更も可能な時点での利用者への説明が必要であると思います。	平成26年4月に、「府中市公共施設の最適化に向けた検討の方向性」を策定し、検討内容を定めた後、同年8月に策定した「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」で示す、モデル事業の枠組みや検討スケジュールに基づき検討を進め、本方針の策定に至ったところでございます。 この検討を進める過程では、それぞれの段階において、意見交換会やパブリックコメント手続、検討協議会、市民アンケート、利用者アンケートなど、様々な形で広く市民の意見を集めながら進めてまいりました。今後も、適宜、情報提供や意見交換などを行いながら、進めてまいります。
101	-	-	その他（取組の進め方）	意見交換会、パブリックコメント手続への参加者が少ないと聞きます。「協働」をスローガンに市の行政を進めています、このことは市としても考えていく必要があるのではと思います。市民参加がその街の雰囲気も作っていくのではないかと思います。	意見交換会やパブリックコメント手続につきましては、テーマによって、参加者や件数が少ないという面はあるかと考えております。また、協働は、異なる立場の者が、協力して課題解決を図ることとなりますので、ご意見の数だけでなく、様々な立場の方からご意見をいただけるよう、努めてまいります。
102	-	-	その他（取組の進め方）	一概に効率的な施設管理や運営を否定はしませんが、今回の方針案には問題点があるので、見直しを求めます。今回の方針案は、府中市公共施設マネジメント基本方針に沿ったモデル事業1として位置づけられているだけに今後の取組全体に影響を与えます。実施した市民アンケートの手法、意見交換会への参加者数、パブリックコメント手続の提出者の数から、決して市民の意見やニーズが反映しているとは考えられません。なかでも利用者の意見は決定的に不足しています。公共施設を「経営資源」とする考えは大いに疑問です。基本方針は慎重を期すことを求めます。	平成26年4月に、「府中市公共施設の最適化に向けた検討の方向性」を策定し、検討内容を定めた後、同年8月に策定した「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」で示す、モデル事業の枠組みや検討スケジュールに基づき検討を進め、本方針の策定に至ったところでございます。 この検討を進める過程では、それぞれの段階において、意見交換会やパブリックコメント手続、検討協議会、市民アンケート、利用者アンケートなど、様々な形で広く市民の意見を集めながら進めてまいりました。今後も、適宜、情報提供や意見交換などを行いながら、進めてまいります。
103	-	-	その他（取組の進め方）	今回もパブリックコメント手続、意見交換会が行われたが、市民への案内や告知はきわめて形式的で、市が掲げる市民協働の理念とはかい離しているのではないのでしょうか。平成26年度に市が10の施策についてパブリックコメント手続を実施していますが、庁舎建設計画への意見提出の143名が最多で大半が10名未満、ゼロというのも2件ありました。形式的で到底市民の意見を聞き、反映したとは言えません。このことをどのように考えているのでしょうか。引き続き、市民の意見、特に利用者の意見を幅広く聞き、議会も含めて慎重に議論し、拙速に結論を出すことを避けることを切望します。	協働による取組を進めるなかで、どのような手法を用いるかは、それぞれの段階に応じて選択していく必要があると考えております。本方針は、市全体の施設の最適化という視点から、各施設に係る今後の取扱いをまとめるものであることから、検討協議会や市民アンケートを中心に進めてまいりました。今後、本方針に基づく各施設の取組につきましては、改めて、進め方を検討し、施設ごとに取り組んでまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
104	-	-	その他 (取組の進め方)	パブリックコメントについて、質問した人に回答を返し、併せてホームページにも掲載してください。意見をまとめて、何の検討もせずに終わらせる「ガス抜き」のような、今の政府のやり方は、回答した人に大変失礼です。府中市はそのような事をやらない市であって欲しいと思います。人手はあるでしょうが、誠意を持ってパブリックコメントに答えて欲しいと切望します。	パブリックコメント手続でいただいたご意見と、それに対する市の考え方は、市のホームページ等で広く公表することとしております。また、方針に反映させるものや、今後の取組のなかで参考とさせていただくものについては、併せてその内容も記載いたします。
105	-	-	その他 (施設の活用)	聴覚障害者は様々なタイプがあり、手話通訳だけではなく、要約筆記を利用する市民もいます。OHCも情報保障として利用しているので、OHCやプロジェクターやスクリーン等を借りられる施設がなくなるのは困りますので、検討してください。	OHCにつきましては、心身障害者福祉センターで貸し出しができるようになりましたので、ぜひご活用ください。また、プロジェクターやスクリーン等は施設によって貸し出ししているところもございますので、ご利用先へお問い合わせください。
106	-	-	その他 (施設の活用)	これまで府中グリーンプラザ、教育センター、ふれあい会館、市民会館と幅広く利用させていただいてきました。会議や講演会等の活用の場としているため、場所がなくなると困ります。また、会場使用料の値上がりも困ります。	府中駅周辺公共施設の再編は、建物ではなく、機能に着目して進めており、再編後も、市が保有する公共施設全体としては、会議室やホールなどの機能は同程度確保してまいります。なお、使用料につきましては、受益者負担の原則を踏まえ、適正な設定を行うことが必要であると考えております。
107	-	-	その他 (施設の活用)	市の手話講習会の運営を委託されています。会場を確保していただいておりますが、市民会館が新しくなってからは、1つの建物で全クラスが勉強する事ができなくなりました。運営する側も巡回が大変な状況で、今後再編に向けての取組の課題にするのであれば、1つの会場で昼夜共に4部屋ずつ借りられるようにしてもらいたいです。	会場の確保について調整しているところではございますが、他団体の利用もあり、1年間同じ会場を確保することが難しい状況でございます。再編後の会場確保につきまして、ご希望に添えられるよう検討してまいります。
108	-	-	その他 (施設の活用)	府中市にはたくさんの施設があり、再編が求められることは理解できません。稼働率が低く感じられる施設もありますが、使用料を安くすれば平日の昼間使いたい人がいます。誰もが来やすいようにもっと工夫をすることもできます。入口や建物が分からない施設もあります。本当は使えるのに、そのことを知らない人もいます。使用回数は少なくとも、その場所で、その人とつながって生活や人生を支えられている人がいることを覚えてください。	公共施設の場所や利用方法などを広く市民に周知し、利用しやすい環境を作り上げることは、これまで市広報やホームページ等で行ってまいりましたが、引き続き、取り組んでまいります。一方で、公共施設が果たす最大の目的は、利用者数の増加ではなく、公共性や公益性に照らし合わせつつ、設置目的の実現に向けた取組を行うことであると考えております。
109	-	-	その他 (府中駅周辺)	現在の府中駅周辺には、成人用シートがある障害者用トイレが3か所しかありません。そのうち、観光情報センター裏のトイレは、健常者が着替えなどで使用していることがあり、なかなか使用できませんし、ベッドをたたまず出ていくので、車いすを使用している方はトイレの中に入れません。注意喚起の張り紙等をするともに、障害者用トイレの数を増やしていただきたいです。	府中駅周辺における公衆トイレの設置につきましては、様々な場面でご意見をいただいておりますので、検討してまいります。

No.	府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)			意見の概要	市の考え方
	章	ページ	分類		
110	-	-	その他（府中駅周辺）	<p>天然記念物馬場大門ケヤキ並木の更なる保存と府中のシンボルとして、次のような積極的な活用を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・およそ一千年にも渡るケヤキ並木の歴史的価値の活用。 ・けやき並木の自動車通行禁止によるケヤキの保存と人と自然とが共存するスペースの活用。 ・古くからある物と新しく作り上げる者との織りなすほかの市町村とは差別化した魅力の発信。 	<p>市では、府中駅前のにぎわいの創出に向けて、本市のシンボルである「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木」を核としたまちづくりを進めております。そのなかで、けやき並木の保護や、けやき並木通りの憩いの空間作り、けやき並木と調和の取れた景観形成など、引き続き、各種施策に取り組んでまいります。</p>